

# あま市巡回バスのあり方を定める「確認項目及び評価項目」

## 確認項目及び評価項目一覧（素案）

### あま市の地域公共交通のあり方

第1次あま市総合計画においては、「安全が確保され、安心して快適に暮らせるまち」を基本目標として定め、「交通網が整備された安全で快適なまちをつくる」を**施策の大綱**として位置付けており、あま市都市計画マスタープランにおいても、「道路・交通に関する方針」の基本方針として「どこへでも、安全・快適に移動できる環境をつくる」とし、**各拠点を結ぶ動線として公共交通軸**が明記されています。それらを踏まえて、あま市内の公共交通を確保するため「**移動に困っている高齢者等の日常生活を支えることを目的**」として、あま市巡回バスを定時定路線で試行運行しています。

### 指 標

右一覧の「**確認項目**」及び「**評価項目**」をあま市巡回バスのあり方を判断する指標とします。「**確認項目**」及び「**評価項目**」の位置付けについては、以下の通りです。

### 確認項目

あま市巡回バスの**運行目的の達成と持続可能な公共交通体系を確立**するため、現状と変動を確認するとともに将来予測にも役立てるものとなります。

### 評価項目

項目ごとに「**基準値**」を定め、各**評価の基準**とします。令和元年度及び令和2年度に達成状況を確認し、あま市巡回バスのあり方について協議してまいります。この「**基準値**」は、**次回の地域公共交通会議までに設定**いたします。

また、「**評価項目**」のうち、特に重要となる項目を「**重点項目**」として指定します。

### 重点項目

「**評価項目**」の中から**2～3項目**を指定する予定です。「**重点項目**」は、あま市巡回バスを運行するにあたり**最低限満たすべき項目**として、**今回の地域公共交通会議にて指定**します。

### 判 断

あま市巡回バスのあり方は、「**確認項目**」の「**数値**」の変動及び「**評価項目**」の「**基準値**」の達成状況を勘案し、**総合的に判断**してまいります。特に「**重点項目**」に指定された「**評価項目**」の達成状況は重要な判断材料となります。「**確認項目**」の「**数値**」に大きな変動がある場合や「**重点項目**」が「**基準値**」に満たない場合は、あま市巡回バスの**運行目的の整理や巡回バス以外の交通手段も含め検討**を進めてまいります。

仮に、廃止と判断した場合であっても、利用者への周知及び他の代替手段を検討したうえで廃止といたします。

確 認 項 目		数 値 (R01 年度)	数 値 (H30 年度)	左記算出方法
想定利用者	高齢者数（65歳以上）		23,201人	住民基本台帳 ※年度末現在
	高齢者率		26.1%	65歳以上人口÷総人口 ※年度末現在
	無料乗車券発行枚数 （延べ発行枚数）		602枚 89枚 53枚	75歳以上 障がい者 ※年度末現在 運転免許証自主返納者
	運転免許証自主返納者数		252人	65歳以上（H29年：254人）
他の移動手段	福祉有償運送利用者数 （登録者数・利用者数）		4人・4人 2人・0人	地域人権ゆうあい会 ひとまち生活ネット津島
	移動援助サービス事業 （登録者数・利用者数）		12人・73人	社会福祉協議会（H29年10月開始）
運行事業費	収支率		0.5%	運賃収入÷運行経費（運行委託料+車借上料）
	みなし収支率		5.1%	みなし収入率とは、無料乗車対象者より運賃相当額を徴収したと仮定し算出したもの。
	一人当りの輸送費用		3,686円	運行経費（運行委託料+車借上料）÷利用者数
	市民一人当りの経費負担額		318円	運行経費（運行委託料+車借上料）÷人口
	歳出に占める運行事業費		0.09%	決算書（H30年度） 運行事業費÷歳出総額

評 価 項 目		基準値 (案)	実績値 (参考)	実績値算出方法
公共交通	あま市巡回バスの認知度	80.0%	79.1%	H28年度アンケート結果
	地域公共交通施策に対する市民の理解	60.0%	50.6%	H28年度アンケート結果
利用状況	1便当たり利用者数	4.3人	4.3人	北部巡回ルート
		6.0人	6.0人	南部巡回ルート ※H30年度実績
		1.8人	1.8人	東部巡回ルート
	1便当たり無料乗車券の利用者数 （想定利用者）	3.4人	3.4人	北部巡回ルート
		5.4人	5.4人	南部巡回ルート ※H30年度実績
		1.5人	1.5人	東部巡回ルート
1日当りの利用者数の平均成長率		0.35% 0.23%	運行開始時を基準 ※H30年度末現在 新ルート運行開始時を基準	
利用率		1.4%	H28年度アンケート結果	
	市民一人当りの利用回数		0.09回/年	年度利用者数÷年度末人口 ※H30年度実績

確認項目及び評価項目の変更箇所について

【変更前】 確認項目及び指標項目一覧（素案）

確認項目		数 値 (参考)	左記算出方法
想定利用者	高齢者数（65歳以上）	23,211人	住民基本台帳
	高齢者率	26.1%	住民基本台帳
	無料乗車券発行枚数	553枚	75歳以上
		103枚 62枚	障がい者 運転免許証自主返納者
運転免許証自主返納者数			
他の移動手段	福祉有償運送利用者数 （登録者数・述べ利用者数）	11名・〇名 〇名・3名	地域人権ゆうあい会 ひとまち生活ネット津島
	移動援助サービス事業 （平成29年10月開始）	12件 31人	登録件数 延べ利用者数
運行事業費	収支率	0.7%	平成30年度 運賃収入÷運行経費

指標項目		目標数値 (参考)	左記算出方法
公共交通	あま市巡回バスの認知度	79.1%	H28年度アンケート結果 全体・年齢別
	地域公共交通施策に対する市民の理解	50.6%	H28年度アンケート結果
利用状況	平均利用者数 （1便当り）	4.2人	北部巡回ルート
		5.7人	南部巡回ルート
		1.8人	東部巡回ルート
	1日当りの利用者数の推移 （平均成長率の推移）	-0.56% -2.64%	運行開始時 新ルート運行開始時
利用率	1.4%	H28年度アンケート結果	
市民一人当りの利用回数	0.10回/年	平成28年11月～平成29年10月 年間利用者数÷人口	
想定利用者	無料乗車の利用割合	83.1%	平成28年11月～平成29年10月 無料乗車券利用者数÷総利用者数
運行事業費	一人当りの輸送費用	3,188円	平成29年度 (運行経費-運賃収入)÷利用者数
	市民一人当りの経費負担額	343円	平成29年度 運行経費÷人口
	歳出に占める運行事業費	0.12%	平成28年度（決算） 運行事業費÷歳出総額

【変更後】 確認項目及び評価項目一覧（素案）

確認項目		数 値 (R01年度)	数 値 (H30年度)	左記算出方法
想定利用者	高齢者数（65歳以上）		23,201人	住民基本台帳 ※年度末現在
	高齢者率		26.1%	65歳以上人口÷総人口 ※年度末現在
	無料乗車券発行枚数 （延べ発行枚数）		602枚 89枚 53枚	75歳以上 障がい者 ※年度末現在
		運転免許証自主返納者数		252人
	他の移動手段	福祉有償運送利用者数 （登録者数・利用者数）		4人・4人 2人・0人
移動援助サービス事業 （登録者数・利用者数）			12人・73人	社会福祉協議会（H29年10月開始）
運行事業費	収支率		0.5%	運賃収入÷運行経費（運行委託料+車借上料）
	みなし収支率		5.1%	みなし収入率とは、無料乗車対象者より運賃相当額を徴収したと仮定し算出したもの。
	一人当りの輸送費用		3,686円	運行経費（運行委託料+車借上料）÷利用者数
	市民一人当りの経費負担額		318円	運行経費（運行委託料+車借上料）÷人口
	歳出に占める運行事業費		0.09%	決算書（H30年度） 運行事業費÷歳出総額

新規

評価項目		基準値 (案)	実績値 (参考)	実績値算出方法
公共交通	あま市巡回バスの認知度	80.0%	79.1%	H28年度アンケート結果
	地域公共交通施策に対する市民の理解	60.0%	50.6%	H28年度アンケート結果
利用状況	1便当たり利用者数	4.3人	4.3人	北部巡回ルート
		6.0人	6.0人	南部巡回ルート ※H30年度実績
		1.8人	1.8人	東部巡回ルート
	1便当たり無料乗車券の利用者数 （想定利用者）	3.4人 5.4人 1.5人	3.4人 5.4人 1.5人	北部巡回ルート 南部巡回ルート ※H30年度実績 東部巡回ルート
	1日当りの利用者数の平均成長率		0.35% 0.23%	運行開始時を基準 ※H30年度末現在 新ルート運行開始時を基準
	利用率		1.4%	H28年度アンケート結果
市民一人当りの利用回数		0.09回/年	年度利用者数÷年度末人口 ※H30年度実績	

